

## ふれあいコラム

今、話題の人物をクローズアップ!

[>> バックナンバー](#)

2009年4月号 ビルの森のなか、  
音楽のオアシスで心を潤していきましょう

フルート奏者 いちむら せいや **一村 誠也さん**



4月25日(土)赤坂区民センターで開催される『「音楽のおくりもの」—わいわいコンサート—』の出演者で、フルート奏者の一村誠也さんに、コンサートに対する思いを伺いました。

—年齢制限なしのコンサートですが、始められたきっかけは？

長男が3、4歳になってコンサートデビューをさせようと思ったときに、どのコンサートも「未就学児童お断り」で、連れて行けるコンサートがなかったんです。じゃあ自分たちでやろうと思い、始めました。妻がピアニストで、私がフルートですから、1回目はフルートとピアノで乳幼児のためのコンサートを企画しました。あいにくその日は台風でしたが、30人位のお客様が来てくださり、「こういうコンサートはないのでぜひ続けてください」という声をいただきました。それで芸大の仲間へ声をかけたんです。「素敵なママになるために、時には心の贅沢をしましょう。どうぞ、小さなお子様をひざに抱いて、コンサートに出かけてください」という思いを抱いて全国を回っています。

—コンサートの特徴は？

「子どもの集中力は3分」と言われていますから、このコンサートでは最長4分の曲を1曲、あとは3分ぐらいの短い曲で構成しています。これがコンサートデビューという方も多いので、曲が終わったら拍手をすとか、コンサートの“当たり前”を皆さんに体験してもらいたい。子どもも含めて、終わる頃には「コンサートってこんな感じ」というのを理解していただくと自負しています。

「楽しかった」という気持ちで帰っていただけると、また来てくださる。「また来たい」という気持ちになっていただきたいと思っています。おかげさまで、リピーターの方もたくさんいらっしゃる。土日にはお父さんも増えていきますし、親子3代でいらっしゃる方も多いです。

—子どもたちの反応はいかがですか？

### ■プロフィール

1992年ジョルジュ・ディマ国立管弦楽団の招へいにより、ルーマニアにてヴィヴァルディのフルート協奏曲のソリストを務める。リコーダー奏者としても、演奏・指導の他、2006年4月、自身の作曲・編曲を含む「小学生のためのアンサンブルシリーズ」合奏編・リコーダー曲集を東京書籍より出版するなど、幅広く活動している。

終了後、お母さんたちからは「すごく機嫌がよかったです」とか「いつもと何か違う」といった声を聞きます。モーツァルトで踊ったり、自分で指揮をしている子どももいます。お客様にはよく「レベルが高くてびっくりした」と言われるのですが、何にも知らない子どもたちに聴かせるには、本能的なというか、本質的なところに訴えかけていけないとダメなんですね。子どもはそのまま反応しますから。大人より厳しいですよ。

ときどき会場で、音楽を聞いて涙が止まらない、「感無量」になっている子どもがいるんです。私自身にも経験がありますが、あの感覚は一生残ると思います。それで一生音楽を好きでいられたら、その子にとってものすごくプラスだと思います。だから「楽しかった」と思って帰ってもらいたいですね。

[▲このページのトップへ](#)

| [個人情報保護について \[PDF\]](#) |

**Kissポート財団** 

(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーふらざ

電話: 03-5770-6837/Fax: 03-5770-6884

お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

 [Kissポート財団について](#)



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。